



## 平安時代の絵物語り雅やかに

天皇の即位ごとに都から伊勢神宮に送られた斎王の行列の様子を再現した「あいの土山斎王群行」が3月25日、土山町で行われました。

今年で15回目を迎え、2年ぶりの開催となります。  
当日は、色鮮やかな十二単をまとった斎王役の岡紗友里さんが輿に乗り、約80名の一行がいにしへの群行を再現しました。  
天候の影響で途中で中止されましたが、沿道は大勢の見物客でにぎわいました。

## あいの土山斎王群行



▶松並木の中を歩く一行



◀斎王役の岡さん



▲古式にのったつた禊ぎ式

## 宮本一さんによるお話し



▲作品を紹介する宮本さん

信楽図書館ギャラリーでは、3月1日から1か月間、信楽在住の作家、宮本一さんの版画・カレンダー展が開催され、24日には、同氏によるお話しが行われました。  
お話しでは、作品づくりへの思いや人生の転機となったインド、ネパールへの旅のお話のほか、作品に合わせてギターを演奏しながら歌を披露しました。  
参加者は、興味深く聞き入り、作品の世界を楽しんでいました。

## 歌やトークで 作品の世界を楽しむ

## 檜尾神社・お田植え祭り



▲先導する天狗と早乙女役の子どもたち

**田植えを演じて  
豊作を祝う**  
3月20日、甲南町池田の檜尾神社でお田植え祭りが行われました。  
この祭りは、毎年春分の日に行われる、稲の豊作を祈願する行事です。特に天狗の面をつけた役が、田植えの一連の作業を演じるという珍しい芸能が伝えられており、市の無形民俗文化財に指定されています。  
境内では、天狗に先導された早乙女役の子ども3名が、苗に見立てた櫛の葉と榊の枝の束を手に取り、地面を掃くようにして苗取りと田植えの様子を再現します。田植えが終わると天狗が小鼓を持って祝いの舞を披露しました。

## 土山サービスエリア

土山サービスエリアで、3月14日、強盗対応訓練が行われました。  
この訓練は、全国のPA・SAでの強盗事件など、事件発生率の高まりを受けて、甲賀警察署をはじめ、高速道路交通警察隊、日本防災通信協会、同サービスエリアのテナント各店が合同で、約30名の参加のもと、実施されました。  
当日は、模擬犯人による強盗訓練、非常通報装置を呼ぶ訓練、カラークラッシュやさす又などの防犯器具の使用訓練が行われました。  
参加された方は、訓練に真剣に取り組みながら、普段からの防犯に対する意識づけの大切さを学びました。



▲さす又を使い犯人役をおさえる参加者

## 強盗対応訓練で普段の心構えを再確認

## 古城山に100本の 桜の苗木を植樹



▲苗木を植える参加者

古城山の二の丸、三の丸跡で、2月26日、桜の苗木の植樹が行われました。  
この植樹は、地域のシンボルである古城山の景観を良くするため、また、みんなが集える場を設けようと、地域資源を守る活動を続けている「水口宿をよくする会」が中心となり行われたものです。  
当日は、地域の方など約80名が参加し、財団法人日本さくらの会から贈られた100本の苗木を次々と植えました。  
この苗木は、数年後には花をつけるそうです。頂上付近が桜で覆われる日が楽しみです。